



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第11号 (H22.6.18)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

しつ じつ ごう けん 質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



「自然科学探究」・出前授業

南九州大学：環境園芸学部環境園芸学科教授

農学博士 山口 雅篤 先生

6月17日(木)・6月18日(金)の2日間にかけて「自然科学探究」における出前授業に南九州大学環境園芸学部の山口雅篤先生に来ていただきました。「植物の色について」「植物の色の世界」をテーマに熱心に講義をされました。子どもたちには、アメリカコロンビアから、カーネーションを空輸にて持っていただき、生徒一人ひとりに花をプレゼントまでしていただきました。生徒たちは、内容は難しいものですが熱心に先生の言葉を聞き取りながら、メモをとっていました。また、実体顕微鏡や生体顕微鏡を利用しながら、植物を観察しました。

1日目は、実験題目を「花卉の顕微鏡による観察」とし、花の色が花卉のどのような細胞から発現しているのかを調べました。先生の講義の中で、バラについて‘ローテローゼ’‘レッドスター’‘インスピレーション’の3品種、カーネーションについて‘ベルベットブルー’‘プリンセスブルー’‘ライラックブルー’‘アクアブルー’の4品種の説明がありました。

2日目は、実験題目を「アソトシアニン色素の抽出」とし、色の原因となる物質を調べるために植物の器官から色素を抽出する実験を行いました。生徒たちは先生の実験に歓声を上げながらの興味津々に聞き入っていました。先生の最後の言葉に、今後学習に向かう姿勢として2つのことを言われました。一つは、「いろんな観点で見ること」一つは「概念をもつ…暗記ではなく自分で考えてみることを、観察することが大事」と、今後の子どもたちへの大きなアドバイスとなったはず。また、生徒お礼の言葉を平川くんが述べ、「…僕は、理系に進むために、今後一生懸命勉強に取り組んでいきたい。先生本当に勉強になりました。ありがとうございました。」と心強いお礼の言葉がありました。平川くんや1-Aみなさんの今後が楽しみです。



子どもたちに身につけさせたい習慣 I

文章を読む習慣

子どもたちに身に付けさせたい習慣の一つ目は「文章を読む習慣」です。

今後、いろんなテストを受けることとなりますが、文章を読んで書く問題が多く出題されます。文章に慣れておくことがきわめて大切です。

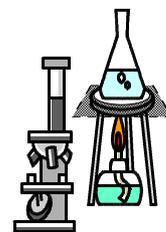
そこで、様々な分野の本を毎日、思索の時間10分間を活用して、読む習慣を付けることです。さらに、文章を読んで、作者の考えや自分の感動を表現する練習を通して「読み取る力」や、それをわかりやすく伝える力を身に付けることができます。

(子どもたちに身に付けさせたい8つの習慣より)

を通して、課題を見つけ、実験・観察し、まとめて発表します。南九州大学の山口先生も出前授業で生徒たちに課題やヒントを提示していただきました。

中学2年生から3年生にかけての2年間でゼミ形式の学習に取り組んでいきます。自ら調べたい問題を発展させ、課題を見つけたり、実験・調査を繰り返したりする中で、より深い学習方法を学んでいきます。中学3年生では2年間のまとめを卒業論文としてまとめプレゼンで発表する予定です。高校生では、個人での研究となり、中学3年間で学んだ手法や経験をもとにさらに高度なテーマで活動します。

附属中の探究は、「なぜ、どうして？」を大切に、不思議だと思ったこと、わからないことをじっくり「探究」していく時間です。いろいろな場面で探究の種を見つけ、納得いくまで調べ、議論し発表する、この活動を5年間行うことで幅広い教養を身につけ、社会の様々な場面、分野において必要な力をつけることができると考えています。



特色ある教育活動 泉ヶ丘附属中の「自然科学探究」

本校では、特色ある教育活動として泉ヶ丘附属中「探究」と題し、「自然科学探究」と「キャリア探究」を大きなテーマとして掲げた探究・体験を生かした活動を行っています。この活動は、生徒の知的好奇心を喚起させ、課題を発見して、自ら調べ、友だちと議論し、発表する、ということを行いながら、学びを深めるとともに、論理的な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力等を育成していくものです。

附属中の自然科学探究は、中学1年から高校2年まで、発達段階に応じてグループ研究から個人研究へ、基礎研究から応用研究へと発展させていきます。最初は、探究活動をどのように進めていくのか(調べ方、発表の仕方など)、今後の活動の基本となることを身につけていくこととなります。具体的な活動として、中学1年生では、「科学の謎に迫ろう」をテーマに、いろんな先生方の話・実験・観察

附属中生の頑張り！

毎週木曜日、高校生と一緒に「文字力テスト」を受けています。目的は、大学受験のために語彙力を高めようというものです。附属中生の成績は、高校生と並ぶような平均を毎回とっています。すごいです。この調子でがんばりましょう。



	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
1-A	9.20	8.98	9.75	9.48	9.63	9.55	9.48
全体平均	9.71	9.22	9.74	9.65	9.89	9.89	9.49

嬉しいことがありました！

「公益信託 弓削教育振興援助基金」の助成校として附属中が決定しました。＜進取の気性に富み向学心の厚かった故弓削 千歳さん＞の足跡に因み「宮崎県内の学校・図書館その他の教育施設に対する図書・教育機材等の購入の助成を行い、もって社会に有用な人材に寄与すること」を目的としています。10万円相当の図書購入に使わせていただこうと思っております。まだまだ本の在庫数が少ない本校にとっては本当にありがたいことです。

子どもたちに身につけさせたい習慣 II

分からない言葉を調べる習慣

2つ目の習慣は「分からない言葉を調べる習慣」です。文章を読み解き、さらに自分の考えをわかりやすく相手に伝える、または表現するためには、言葉を知っておくことが大切です。

文章を読んでいるときに、分からない言葉があった場合、調べるのは当然として、それを自分のものにするためにその言葉を使った文章を書いてみるのが重要だと考えました。

国語辞典を身近なところに置き、初めは保護者の皆さんと一緒に調べるなど、こうした取り組みを繰り返すことが語彙力を身に付ける近道であると考えます。

(子どもたちに身に付けさせたい8つの習慣より)

